



US Topics

December 3, 2009

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

■ 目次

年度末の会計および財務報告上の検討事項に関する PwC DataLine
PwCが業務品質レビューに関するPCAOB監査基準に関するSECの通知についての見解を公表
PwCが会計上の見積りの監査に関するASBの基準案に対するコメントを公表
FASB関連記事

■ 年度末の会計および財務報告上の検討事項に関する PwC DataLine

経済環境は安定してきているように見えるものの、年次財務諸表の作成に当たり企業が検討すべき会計および財務報告上の検討事項は多く残されています。年度末の財務報告シーズンに向け、企業は財務諸表に関連する検討事項に積極的に対応することが重要です。そこで、年度末の対応にあたる企業を支援するために、PwC は年度末の財務報告に焦点を当てた 2 つの DataLine を作成して公表しました。

- DataLine 2009-52「2009年度の財務報告上の検討事項」
このDataLineでは、会計および財務報告上の多数の最新トピック、SEC職員が重点を置く領域、および年度末の財務報告に関して検討を行うべき、各会計基準設定主体から最近公表されたガイダンスを取上げています。
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jsp?ContentCode=AALN-7YCUH9&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>
- DataLine 2009-51「法人所得税の会計処理 — 2009 年度末におけるホット・トピックス」
法人所得税の会計処理は、引き続き、SEC 職員および PCAOB 職員が注目し、重点を置いている領域です。DataLine 2009-52 と併せて、この DataLine では、法人所得税の会計処理に関して、PwC が引き続き企業にとって課題となると考える多くの領域を取り上げています。
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jsp?ContentCode=AALN-7YAQPX&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

■ PwCが業務品質レビューに関するPCAOB監査基準に関するSECの通知についての見解を公表

PwC は、PCAOB の監査基準書第 7 号「業務品質レビュー」(AS 7)に関する SEC の通知に対するレスポンスレターを提出しました。AS 7 は、監査業務品質のレビューアーが、監査エンゲージメント・チームによる判断および結論を評価するための最新のフレームワークを提供するものです。このレターにおいて、PwC は、監査の品質向上を図る基準を普及させるための、PCAOB による継続的な取り組みへの支持を表明しました。PwC は、エンゲージメント・チームが行なった重要な判断および到達した関連する結論に焦点を置いた厳格かつ有効な業務品質レビューが、その目的を推進すると考えています。また一方で、このレターにおいて PwC は、AS 7 に関する 2 つの懸念を強調しています。第一に、専門家としての正当な注意に関する記述のいくつかが一貫性を欠いている、第二に、PCAOB が記載している重大な不備の文書化の例が、AS 7 の規定と矛盾する形で解釈され、業務品質レビューの実施において意図しない結果(すなわち、重大な不備があまりに幅広く解釈されること)をもたらす可能性がある、と PwC は考えています。

SEC によって承認された場合、AS 7 は PCAOB の暫定(interim)コンカリング・パートナー・レビュー規定に取って替わり、2009 年 12 月 15 日以降に開始する会計年度から適用開始となります。

▼ CFO Direct Network のメンバーは、この PwC のレスポンスレターの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=EDYR-7YAR8E&SecNavCode=ASPP-4MMPCR&ContentType=Content>

■ PwCが会計上の見積りの監査に関するASBの基準案に対するコメントを公表

今週、PwC は、AICPA の監査基準委員会(ASB)の「公正価値会計の見積および関連する開示を含む、会計上の見積りの監査」(再起草)と題する監査基準案に関するコメントレターを提出しました。PwC は、ASB の明瞭性を確保する作成規約および国際監査・保証基準審議会の基準とのコンバージェンスを行おうとする戦略に一致した、この SAS 案の発行への支持を表明しています。その一方で、PwC は、会計上の見積りの監査のガイダンスをさらに強調するために、ASB はパラグラフの並べ替えを行なうべきであるとする提案を行なっています。

なお、この SAS 案は、SAS 57「会計上の見積りの監査」および SAS 101「公正価値測定の監査および開示」に取って替わるものです。

▼ CFO Direct Network のメンバーは、この PwC のコメントレターの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=EDYR-7YBJNG&SecNavCode=MSRA-74AMRC&ContentType=Content>

■ FASB関連記事

会議の要約: 11月24日の会議において、FASB は(1)金融商品会計および(2)保険契約についての議論を行いました。詳細については、以下の FASB ウェブサイトをご覧ください。

http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FActionAlertPage&cid=1176156560068

また、12月2日の会議において、FASB は、EITF の合意および暫定的結論の承認について検討しました。詳細については、以下の FASB ウェブサイトをご覧ください。

http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FActionAlertPage&cid=1176156565988

次回の FASB 公開会議: FASB は 12月9日に会議を開催予定です。この会議において、組込クレジット・デリバティブに関連する適用除外規定に関するプロジェクトについて議論を行う予定です。この会議に関する更なる情報については、FASB ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=Page&pagename=FASB%2FPage%2FSectionPage&cid=1218220079452>

プロジェクトの更新

FASB は以下のプロジェクトの要約を更新しました。

- 金融商品の会計処理
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FProjectUpdatePage&cid=1175801889654
- 収益認識
http://www.fasb.org/revenue_recognition.shtml
- FAS160 の適用範囲の再検討

http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FProjectUpdatePage&cid=1176155539325

- FAS157-公正価値測定についての開示の改善
http://www.fasb.org/fas157_improving_disclosures_about_fvm.shtml

お問い合わせ:

あらた監査法人
東京都中央区銀座8丁目21番1号
住友不動産汐留浜離宮ビル(〒104-0061)
お問い合わせ: aaratapr@jp.pwc.com

© 2009 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate and independent legal entity.